

MP Oral Session 1

8:55 ~ 9:40

座長：相澤 義泰 (日本医科大学付属病院循環器内科)
鈴木 健一 (日本医科大学付属病院ME部)

MP-O1 左房後壁隔離確認時における Late Annotation Module (LAM) を用いた LAT Velocity Vectors (LVV) の有用性

三浦健太郎 (筑波大学附属病院臨床工学部)

MP-O2 CARTO Complex Signal Identification (CSI) をもちいた左房後壁隔離の gap 検出の有用性に関する検討

大戸 翔平 (国際医療福祉大学病院臨床工学部)

MP-O3 部分肺静脈還流異常症に対して肺静脈隔離術を施行した1例

金榊 光希 (筑波大学附属病院臨床工学部)

MP-O4 Localized reentry 性頻拍の AT ABL 後に CARTO 3 (ver8) module である Complex Signal Identification (CSI) を用いて Fraction score が AT 回路と一致した症例検討について

縮 恭一 (筑波大学附属病院臨床工学部)

心電図検定対策講座 1

10:05 ~ 10:50

座長：栗田 康生 (国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター)

ETC1 頻拍心電図の鑑別について

徳田 道史 (東京慈恵会医科大学循環器内科)

心電図検定対策講座 2

10:55 ~ 11:40

座長：栗田 康生 (国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター)

ETC2 ST変化の鑑別について

小谷英太郎 (日本医科大学多摩永山病院循環器内科)

ランチョンセミナー 2 FARAPULSE™12万例から考える
これからの心房細動アブレーション

11:55 ~ 12:55

座長：高橋 淳 (横須賀共済病院循環器内科)

FARAPULSE™12万例のデータを紐解く

宮崎 晋介 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科循環制御内科学)

FARAPULSE™の実臨床からわかったこれからの心房細動アブレーション

徳田 道史 (東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科)

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

スポンサードセミナー 1

AF Total Management ～心房細動マネジメントの変革～

13:05～14:05

座長：青沼 和隆（水戸済生会病院循環器内科）

WATCHMANの効果を紐解く ～エビデンスをふまえた治療戦略～

山崎 浩（筑波大学附属病院循環器内科）

心房細動治療の盲点

高橋 良英（新百合ヶ丘総合病院循環器内科）

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

スポンサードセミナー 2 SMART ABLATION 2025

～安全かつ効率的な治療を目指して～

14:10～14:55

座長：高月 誠司（慶應義塾大学医学部不整脈先進治療学寄附研究講座）

カテーテルアブレーションにおける合併症予防を再考する

中村 紘規（群馬県立心臓血管センター循環器内科）

当院のAF New Strategy ～パルスフィールドへの期待～

福永 寛（榊原記念病院循環器内科）

共催：株式会社カネカメディックス

スポンサードセミナー 3 重症心不全へのAblation治療の挑戦と限界

～LVAD導入を視野に入れた治療戦略～

15:00～15:45

座長：宮崎 晋介（東京科学大学大学院医歯学総合研究科循環制御内科学）

重症心不全へのAblation治療の挑戦と限界

小松 雄樹（筑波大学附属病院循環器内科）

不整脈医でも出会う、LVADを早めに考えるべき患者さんとは？

岩花 東吾（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学）

共催：ニプロ株式会社／アボットメディカルジャパン合同会社

スポンサードセミナー 4

Mappingの未来：Peak Frequencyが導くアブレーション戦略 15:50～16:50

座長：徳田 道史（東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科）

OTNFを活用した広尾メソッド

北條林太郎（東京都立広尾病院循環器科）

Pseudo-Common Atrial Flutter 症例から考えるAT mapping

樋口 諭（東京女子医科大学循環器内科）

虚血性心筋症に対するOT Near FieldとMRIガイドによるVTアブレーション

中原 志朗（獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科）

共催：日本光電工業株式会社／アボットメディカルジャパン合同会社

Oral Session 3 PVC/その他

16:55～17:55

座長：中原 志朗（獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科）

白井 康大（AOI国際病院循環器内科／不整脈先端治療センター）

○10 鏡像型右胸心を背景とする特発性心室期外収縮の起源予測に左右反転12誘導心電図が有用であった1例

中村 真（東京科学大学医学部循環器内科、東京都立多摩南部地域病院循環器内科）

○11 右室流出路のほうが先行度もpacemapも圧倒的に良好であるにもかかわらず、左室流出路でのアブレーションで根治した流出路型心室期外収縮の1例

喜舎場順一（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）

○12 Conus veinに挿入した2Fr電極カテーテルが起源同定に有用であった右室流出路起源心室期外収縮の1例

小田 優香（東京心臓不整脈病院循環器内科）

○13 ASD閉鎖後にRFニードルでのBrockenbroughに難渋し経中隔穿刺ワイヤを使用しCryoアブレーションが可能になった1例

鈴木 裕子（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）

○14 大動脈弁二尖弁患者に続発したATP感受性リエントリー性心房頻拍の1例

鈴木 美波（JR東京総合病院循環器内科）